

陸上競技（短距離）プログラム報告 2015年1月10日（土）中村 泰雄

川口陸上プログラムの会場の県民健康福祉村でジョギングコース他の改修工事が始まりました。一月五日から三月二十日までの予定です。この間にプログラムは五回予定されています。工事の影響はジョギングコースの幅員が狭くなる程度ということなので、プログラムの進行に支障はないとは思いますが、果たして如何か。

それで気になるのが、毎年二月にこの公園で開いているSONS駅伝への影響ですが、今日も駅伝の日程の発表は有りませんでした。まさか中止と言う事もないでしょうから、恐らく工事の終了を待って、と云うことになるのでは。取り敢えず今日から長短合同で駅伝の練習を開始しました。備え有れば患いなし。

その前にお馴染みの配布プリントの話です。今回のプリントは彼岸花で作りました。彼岸花は今までに三回プリントのテーマ（ウォーキング中の植物見物のターゲット）になりました。

最初は二千九年の九月で、花の画像をプリントの上辺中央に掲げ、曼珠沙華と云うサンスクリット起源の別名を持つこと、有毒であること、ネズミやモグラの被害を防ぐために、土葬の墓場に植えられたことなどを書きました。

次は翌年の一月で、花の画像と葉の画像を並べて掲げ『花が有る時には葉が無く、葉が有る時は花が無い』話などをしました。また有毒な球根から毒を抜いて、飢饉に備える食料にしたことも書きました。

最後は一昨年のもので、タイトルを『野蒜と彼岸花』とし、野蒜と彼岸花の葉の画像を並べて掲げ、彼岸花を野蒜と間違えて食べて中毒になる人が時々居るとい話を書きました。

そして今回。タイトル画像も記事も 2010 年の焼き直しです。四年も経てば・・・と勝手に決めて横着を決め込みました。

今回はウォーキングのスタートを見送ってから彼岸花の現場に向かいました。現場は噴水池の東岸、飛翔橋から新川右岸を 50m ほど遡った所です。ジョギングコースを順行すれば、ウォーキングのスタートポイントから約九百?有りますが、逆行すれば三百 m 足らずです。ですからこれで余裕綽々。途中のトイレで

小用を足し、飛翔橋のたもとで、一行を待ちました。

待つこと五分強、OM君がお母さんと一緒に到着。大坂P C他が 5?、10? 間隔で続きます。アスリートの大半が到着したところで、一行を現場に案内して質問。

『ここに彼岸花が咲いていたのを憶えている人は?』

残念。無反応でした。と云う事は目の前の彼岸花の葉は彼らにとってはただの青い草かも知れません。それなら寒さの中のウォーミングアップで長居は無用です。三分弱で再スタートしてもらいました。

ウォーキングの後は二千を走り、その後参加アスリートを二チームに分けて、襷の受け渡しを含めて、実戦さながらの駅伝レースを走り、整理体操の後に、寒い寒いプログラムを終了しました。午前十一時三十分でした。